



### 播磨町消防団 消防庁長官より表彰されました

播磨町消防団は長年に渡り、災害の防除と消防力の強化につとめ、その成績は特に優秀であり、他の模範と認められたことから消防庁長官より表彰旗を授与されました。この表彰旗は先に行われた播磨町小型ポンプ操法大会にて、清水町長より田中消防団長に手渡されました。

### 第42回播磨町消防団ポンプ操法大会

5月9日(日)、望海公園球場で小型ポンプ操法大会を開催しました。4月18日のポンプ操法講習会から練習を重ねてきた10分団11チームがこの大会に臨みました。

優勝及び準優勝の分団は、県大会出場を目指して、6月20日(日)に三木市で開催される東播磨地区操法大会に出場します。

- 優勝 野添分団 Bチーム
- 準優勝 野添分団 Aチーム
- 操作員別優勝
- 指揮者 野添分団 佐伯謙作
- 一番員 野添分団 平田則和
- 一番員 二子分団 島田久敬
- 一番員 野添分団 舘寛
- 二番員 宮北分団 村田隆
- 三番員 野添分団 北田陽介



▲迅速・正確さを競う



▶女性消防団による  
軽可搬ポンプ操法の  
デモンストレーション

### 健康福祉フェア&緑化イベント、1万人でにぎわいました

食生活や運動を見直し、健康に過ごすためのヒントがいろいろの屋外イベント「健康福祉フェア」が4月29日の晴天の中で催されました。歯のチェックや、体成分の測定、食生活の見直しのほか、片足でバランスよく立てるかなど簡単な身体能力のチェックに参加者は興味津々でした。同時開催の福祉大会、野添北公園での緑化イベントなど会場が広範囲にわたるため、「全部回るだけでもいい運動になりますね」と、歩きやすい靴で訪れている人が多くありました。



▲点字ってどんなもの？



▲歯の健康チェック



▲ジャンプうまくできる？



▲普段の食事の野菜の量は？



▲座ってできる健康体操



▲消防団員になってみよう！



▲同時開催「緑化イベント」



▲かざぐるまづくり

### 楽屋裏

外での作業がやりやすい季節になり、我が家の小さな庭の土いじりははじめました。長い間ほったらかしていたため、バラは元気がない様子ですが、それでもつぼみをたくさんつけています。これからは、もう少しかまっておきたいと思えます。

役場でも、緑のカーテンづくりが始まりました。駐車場の玄関の真上、2階のテラスに網が見えると思います。夏には、ゴーヤの葉がいつぱいに茂り、直射日光が室内に入ること防いでくれることでしょうか。経過は町のホームページで報告します。(宮)

### 播磨ふれあいの家 だより



▲昨年のマラソン大会風景

今年も6月6日(日)に第25回たたりぎダム湖マラソン大会が開催されます。全国各地から2,500人のランナーが施設周辺に大集合。多々良木ダムを周回するコースはかなりアップダウンが激しく、数あるマラソンコースでも難所の一つだそうです。ちなみに「播磨ふれあいの家」の前がスタート地点になります。

▶宿泊のご予約 ☎079(678)1481

### わんぱくはりまっ子



まるお いくの  
圓尾 郁乃ちゃん(撮影時5カ月)  
二子

元気にすくすくと育ててね  
パパ・ママより

### いいね! はりま

町政  
レポート  
No.41



▲健康福祉フェアの会場にて

花冷えという言葉がぴったり当てはまるような今年の春でした。桜の花が終わり、4月になってなかなか気温が上がらず、冬物の衣類が長く活躍しました。おかげさまで春の花々を長く楽しむことができました。

■4月1日「スペシャルオリンピックス日本兵庫東播磨プログラム」の設立総会が播磨南小学校体育館で開催されました。スペシャルオリンピックスとは、知的発達障がいのある人々の自立と社会参加を目指す国際的なスポーツ組織で、この地域で始めて設立されました。参加者たちは、総会后、ボランティアに助言を受けながら、和気あいあいとした雰囲気の中で、軽スポーツを楽しんでいました。会場に響く楽しそうな歓声や笑顔が印象的でした。

■4月は播磨町の第1次産業である農業・漁業関係者とのタウンミーティングを行いました。後継者不足など共通する悩みもあるようですが、それぞれに誇りと自信を持って取り組んでおられるお姿に感銘を受けました。他に優るとも劣らない播磨町の農業・漁業を盛り上げていく方法を一緒に考え、何か新たな特産品を生み出せないかあれやこれやと思案中です。

■4月29日は播磨町恒例の「健康福祉フェア&緑化イベント」がありました。朝方までの雨に開催が危ぶまれましたが、開会時にはいいお天気になり、大勢の方々にご来場いただきました。今年初めての試みとして、消防団の分団が子どもたちに消防自動車の試乗や消火器を使っただけの放水ゲーム、バケツリレーなどを行いました。生まれて初めて着る「はっぴ」や、おもちゃではなく本物の消防自動車に乗る体験に子どもたちは目を輝かせていました。消防団のお兄さんたちとのふれあいが原体験となり、いつか地域を守る大人になってくださいね。

播磨町長 清水ひろ子